

「高見修司と子どもたちの『人びと展』」開催について

JA兵庫南(兵庫県加古川市、野村隆幸組合長)は、JA兵庫南の加古川北支店(加古川市)で、「高見修司と子どもたちの『人びと展』」を開催します。高見修司は昭和 25 年、加古川市に生まれました。父の死をきっかけに絵を描き始め、職を転々としながら、38 歳で亡くなるまで、絵を描き続けました。この度、初期の作品である油彩画を寄贈いただいたことを記念し、加古川市立義務教育学校両荘みらい学園の子どもたちが描いた絵とともに展覧会を開催。描かなければ生きられなかった「絵描き」の魂に触れるとともに、子どもたちの「今」を感じていただければ幸いです。

学校との連携、地域住民との交流を通じた地域貢献活動をぜひ取材いただき、報道の資料としてご活用ください。

高見修司展示作品

- ・少年Ⅰ (1975)・閉ざされた家 (1976)・顔 (1974、1)
- ・檻の中 (1973、6)・少年Ⅱ (1975)・女Ⅰ (1974)
- ・風の中 (1973、12)・ある風景 (1973、10)・女Ⅱ (1976)
- ・男の顔 (1976)・カキが実った (1973、10)

開催場所:JA兵庫南・加古川支店 2 階

加古川市上荘町都済 667 TEL/079-428-2153

開催期間:令和 8 年 8 月 13 日(木)~8 月 18 日(火)* 土日を除く

9:00~15:00

入館料無料

JA 兵庫南は明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町を管内に、暮らしを支えるさまざまな事業を展開しています。地域産業の一つである農業の振興を柱に、地産地消や食の大切さを発信しているほか、地域が安心できる暮らしづくりに力を注いでいます。

この件に関する報道関係各位からのお問い合わせ先

JA兵庫南 総務部ふれあい広報課 担当:高見

直通電話:(079)424-1388 FAX:(079)424-1134

email:takami246@ja-hyogominami.com



<少年I> 1975年

高見修司と子どもたちの 「人びと展」

2026

8.13_{THU} - 8.18_{TUE}

9:00-15:00 土日を除く

入館料 無料

開催
場所

JA兵庫南 加古川北支店 2階
加古川市上荘町都染667 TEL/079-428-2153

主催 / 兵庫南農業協同組合 後援 / 神戸新聞社
この展覧会はJA共済の地域貢献活動の一環として開催しています。

高見修司と 子どもたちの 「人びと展」 開催にあたって



＜閉ざされた家＞ 1976年

高見修司年表

- 1950(昭和25)年 ▶ 10月20日、印南郡上荘村葉栗(現・加古川市)に生まれる
中・高校時代は剣道に熱中する
- 1969(昭和44)年 ▶ 白陵高校を卒業し、中央大学英文科に入学
父死す
衝動的に絵を描き始める
- 1970(昭和45)年 ▶ 大学を中退
金沢に住み、一時研究所に通いデッサンを学ぶ
加古川に戻り、働きながら油彩画を制作する
- 1973(昭和48)年 ▶ 南太平洋のポナペ島へ移り住むが、体調を崩し帰国
金沢に住む
- 1975(昭和50)年 ▶ 鎌倉に住む
- 1976(昭和51)年 ▶ 結婚
横須賀に住む
- 1979(昭和54)年 ▶ 葉山に住む
- 1980(昭和55)年 ▶ 新潟に住む
水彩画を描き始める
- 1981(昭和56)年 ▶ 個展(新潟・羊画廊)
- 1982(昭和57)年 ▶ 個展(新潟県民会館)
- 1983(昭和58)年 ▶ 個展(新潟・グリーンプラザ)
- 1984(昭和59)年 ▶ 個展(新潟・羊画廊)
- 1986(昭和61)年 ▶ 信田俊郎と2人展(新潟・羊画廊)
- 1988(昭和63)年 ▶ 個展(東京・中野紅画廊)
詩人・画家のアーヴィング・ステットナー(アメリカ)と文通を始める
5人展(新潟・羊画廊)
- 1989(平成元年) ▶ 7月1日、病没(38歳)

高見修司は1950(昭和25)年、加古川市に生まれました。

中央大学英文科在学中に父の死にあい、大学を中退。飛び込んだ画材店で油絵具とキャンバスを買い求め、衝動的に絵を描き始めます。一時は南洋のポナペ島へ永住を決意して赴きましたが、病気になり帰国。その後は、金沢、鎌倉、横須賀などに移り住みました。1980(昭和55)年、新潟に居を定めた頃からは、水彩画をよく描くようになります。家の外にあるアトリエと呼ぶには粗末な物置小屋で、絵を描く毎日。いくつもの職を転々とし、絵を描きたいばかりに、臨時雇いで通しました。アメリカの詩人で画家のアーヴィング・

ステットナーと文通を始めた最中、病に倒れ、1989(平成元年)年に38歳で亡くなります。

その遺作は知人や友人、コレクターたちの手に渡り、うち10点をJA兵庫南に寄贈いただきました。本展では、高見修司の初期作品である油彩画と加古川市立両荘みらい学園の子どもたちが描いた人物画を展示。描かなければ生きられなかった「絵描き」の魂に触れるとともに、子どもたちの今を感じていただければ幸いです。



＜男の顔＞ 1976年

展示作品

題名	制作年月	サイズ(cm)
少年I	1975	162 × 131
閉ざされた家	1976	91 × 117
顔	1974.1	53 × 45
檻の中	1973.6	40 × 32
少年II	1975	162 × 131
女I	1974	145 × 112
風の中	1973.12	40 × 32
ある風景	1973.10	61 × 50
女II	1976	162 × 130
男の顔	1976	61 × 50
カキが実った	1973.10	45 × 53